

株式会社 ITS MORE

2020年4月設立

ITS more

2020年9月4日 投稿者: SATOXITS

GShell 0.3.1 – HTMLインスペクタ

基盤：そういえば GShell が白熱してペンディングしていた Catalina のアップデートをしましょう。まずは iMac から。



基盤：今すぐアップデートをぷちっ。

開発：これは時間がかかりそうですね。

社長：何のアップデートでしょう？

基盤：iMac で 仮想化アプリを使ってるお客様みたいな。うち用のアップデートですかw



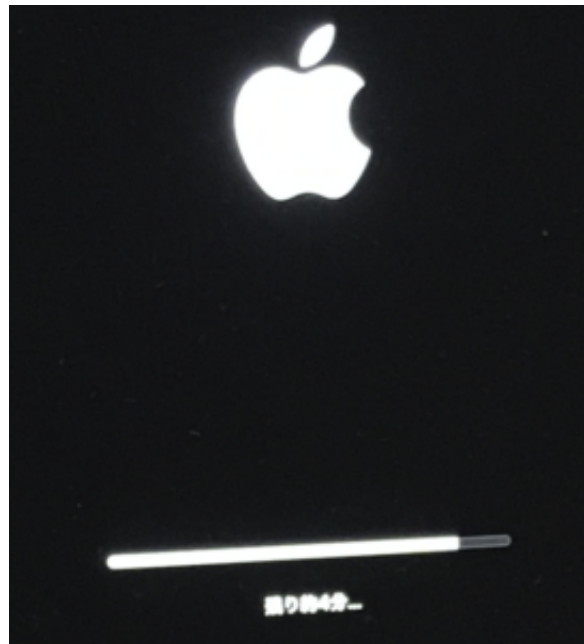
社長：やはりMac2台体制には意義がありますね。

開発：というかiMacのアップデートの間に GShell の開発をやるうと思ってたんですが、開発のホームが iMac にあるんでした。暫時休憩ですね。

社長：でも必要なのは gsh.go.html というファイル一個だけですよね。ブログにもアーカイブされてるし。

開発：いや、クラウドにもアーカイブしてます。単に腰が重いなーと。

基盤：マイナーアップデートだけあって小さいみたいです。



開発：なんでもっとでっかいフォントで表示しないんですかね？

社長：こういうプロGRESS、正確に時間が予測できたら素晴らしいと思うんですが。

基盤：立ち上がりました。



社長：ノー、サンキュー。

基盤：ぷちぷちっと。立ち上がりました。

社長：Notesで複数選択してプリントできるようになるといいなあ。

開発：社長にとってmacOSのキラアプリですからね。

HTML構造エディタの夢

開発：ではプリキュアかけて気合を淹れます。

社長：それで、今日病院の待合で考えたんですが、HTMLの要素のエディタがあるといいなって。正確に言えば、DOMのエディタですかね。とりあえず見るだけのインスペクタでも良いですが。

基盤：タグの属性を編集する機能ですね。

社長：それもですが、要素をツリー表示して、各要素の属性を表示するわけですね。もちろん署名とかも。必要なら署名もそこです。で、表示する階層レベルを変えて、要素の複製や移動もできる。

開発：ブラウザの、開発者向けのインスペクタとか、大仰すぎるんですよ。しかもHTML作成者しかユーザとして想定していない。あれは読者向けにも活用すべきだと思います。

基盤：Wordのアウトラインモードみたいなやつですね。

社長：Wordのほうが早かったかも知れませんが、私は学生時代、80年代なかばにCでそれをやりました。いわゆる構造エディタというか構文木エディタです。でも普通にテキストとして編集もできて、編集コマンドがvi互換なのが特徴みたいな。当時構造エディタはACM SIGPLANとか情報処理学会でもそこそこの数の人がやってる研究テーマだったんです。

基盤：何人くらいですか？

社長：おそらく世界的に数十人は優に。

社長：そもそも私の就職では、そっちの研究もされていたETLの人がお世話をしてくださいました。面接の受け答えとか指南していただいたり。

基盤：どのような？

社長：Dだけどつぶしは効きますって言えとかw

開発：恩人ですね。

社長：オンボロのバイオレットだかスターレットでわざわざ大学まで送り迎えしてくれましたっけ。その後偶然、わたしの居た研究室に来られて、ずっとお世話になりました。DeleGateなんかも、やりたいようにやらせてもらえましたし。彼は理論畑の人でした。理論の人は実践を見下しているようなイメージがあるのですが、逆に理論がすぐには社会の役に立たないとへこんでいて、実践の人間を羨ましがっていると言うか過大評価してくれるというタイプでしたね。

開発：あの当時は研究者の大半が AI 研究者でした。

基盤：何人くらいですか？

開発：数千人か数万人かそれ以上。

社長：まあMITI ETLはその発信源の一つだったんだと思います。ICOT作ったりとか。

開発：80年代後半には、OSの研究とかやってる人はほぼ絶滅してましたね。なにそれ昔の研究みたいな。

社長：今あるインフラが日本製であっても不思議じゃなかったというか、そういうポテンシャルを持ってる友人は何人かいました。でも、貴族でもない若者は食える仕事を選ぶしか途が無い。

開発：まあ、個人的能力だけではどうにもならない時代や状況はありますね。

社長：ああそれで、そのHTML構造エディタもやはり、vi 互換のキーで操作できると良いのと、j, k で隣のエレメントに映る。で、vin 互換に i と o でツリーを開いたり閉じたりする。

開発：通常が表示では内部のエレメント構造とかユーザには見えないので、マウスでポインティングするのが難しいでしょうから、キー入力良さそうですね。抽象的な対象は記号で操作する。でも、ブラウザの助けなしにできるのかな…

社長：なんとなれば extension でやればよいのではないかと。

基盤：それって全部のエレメントを details タグみたいにできるということですね？

社長：・・・ まあそういうことですね。

開発：details を見てこれだ！って思ったのはそのせいですね。style.display で制御できるかも。

* * *

基盤：おっとYouTube で「広告をスキップまでX秒」でなく、即アンケートに答えるが
出ました。

社長：正しい方向だと思います。

開発：両方組み合わせると虫の居所がシャープじゃないですかね。

One Giant Leap

開発：えーと、一丁目一番地は、JavaScriptでキー入力をを受け取るところです
が… keypress これかな？ Deprecated… HTML系ってなんでこう過去をガンガン
捨てますかね。

社長：私もHTML2人間でしたから最初はハラたちましたが、今は彼らの流儀が正しい
んだろうと思っています。我々も見習わなくては。走りながら考えた過去は捨てるんで
しょう。

開発：で、今は keydown だと。んー… なんじゃこれ。簡単過ぎる。

Examples

addEventListener keydown example

This example logs the `KeyboardEvent.code` value whenever you press down a key.

```
1 | <p>Focus the IFrame first (e.g. by clicking in  
2 | <p id="log"></p>
```

```
1 | document.addEventListener('keydown', logKey);  
2 |  
3 | function logKey(e) {  
4 |     log.textContent += `${e.code}`;  
5 | }
```

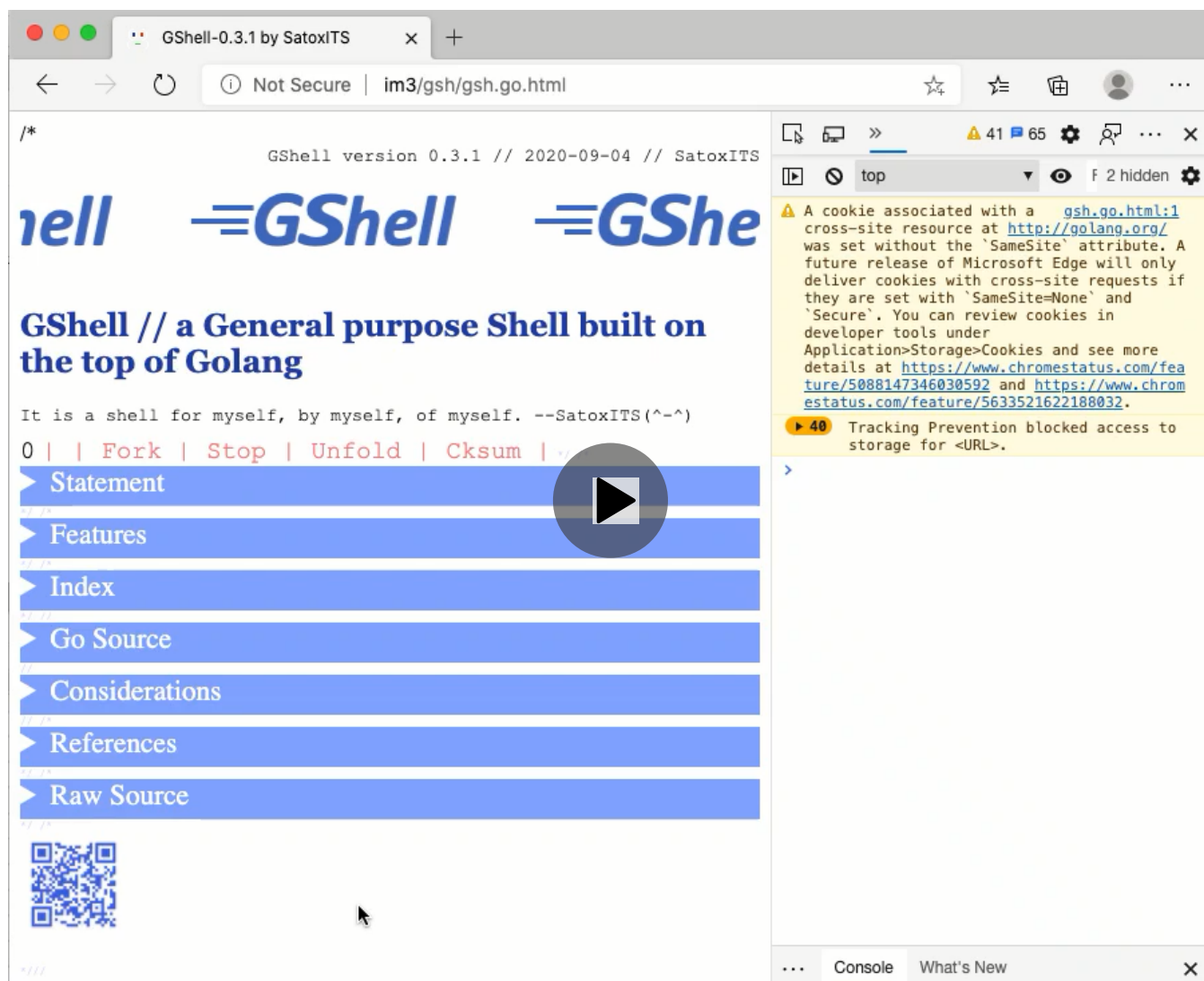
基盤：これってそもそも、`getElementById("log")` してないですね。

社長：！！

開発：まじか… ではこんな感じで。

```
// 2020-0904 created, tentative  
document.addEventListener('keydown', jgshCommand);  
//GshStatement = document.getElementById("GshStatement") // unnece  
//GshFeatures = document.getElementById("GshFeatures") // unnece  
CurElement = GshFeatures  
function jgshCommand(e) {  
    console.log("JSGsh-Key:"+e.code+"(^-^)/")  
    if( e.code == "KeyO" ){ // fold the element  
        CurElement.open = false;  
    }  
    if( e.code == "KeyI" ){ // unfold the element  
        CurElement.open = true;  
    }  
    if( e.code == "KeyJ" ){ // next element  
        CurElement = GshFeatures  
    }  
    if( e.code == "KeyK" ){ // previous element  
        CurElement = GshStatement  
    }  
}
```

開発：リロードして、iokiojio…



基盤：動いた！

開発：明るい未来が見えた気がした。

社長：感動した。

開発：ていうか、考えてみたらこの手のページって昔からありますよね？出来ないわけがなかった。

社長：いや、でも、ゼロ知識から JavaScript の当社にとっては、大きな前進、one giant leapです。素晴らしい。祝杯を挙げに行きましょう。HTMLに明示的な目印を付けたほうがより使いやすいとは思いますが。

開発：そうですね。あとはカレントエレメントをハイライトするとか、次のエレメントを自動で探すとか必要ですけど、単純に実現できると思います。

社長：Features に列挙する第2項目はこれに決まりです。

開発：というか、JavaScript で IME 書く気まんまんになってきました。

社長：それも面白いですね。

基盤：これって、複数キー同時押しもセンスできるから、念願の JKL 3ビット同時入力もできますよね。

社長：！！！！

基盤：ローマ字かな入力も2キー同時打ちでイケるような。

開発：すごく明るい未来が見えた気がした。

社長：ちょっと、感動で壊れないように、慎重に飲んでみましょう。

— 2020-0904 SatoxITS

[http-im3-gsh-gsh-0.3.1.go](http://im3-gsh-gsh-0.3.1.go)

ダウンロード

/*

GShell version 0.3.1 // 2020-09-04 // SatoxITS

—GShell —GShell —GS

GShell // a General purpose Shell built on the top of Golang

It is a shell for myself, by myself, of myself. -SatoxITS(^-^)

0 | | Fork | Stop | Unfold | Cksum | */ /*

▶ Statement

/ /

▶ Features

/ /

▶ Index

*/ //

▶ Go Source

//

▶ Considerations

// /*

▶ References

/ /

▶ Raw Source

/ /



▶ WebCrypto

*/ //